

小田原創友クラブ

第63号

【発行】小田原市老人クラブ連合会
〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷編集協力】榊博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001代



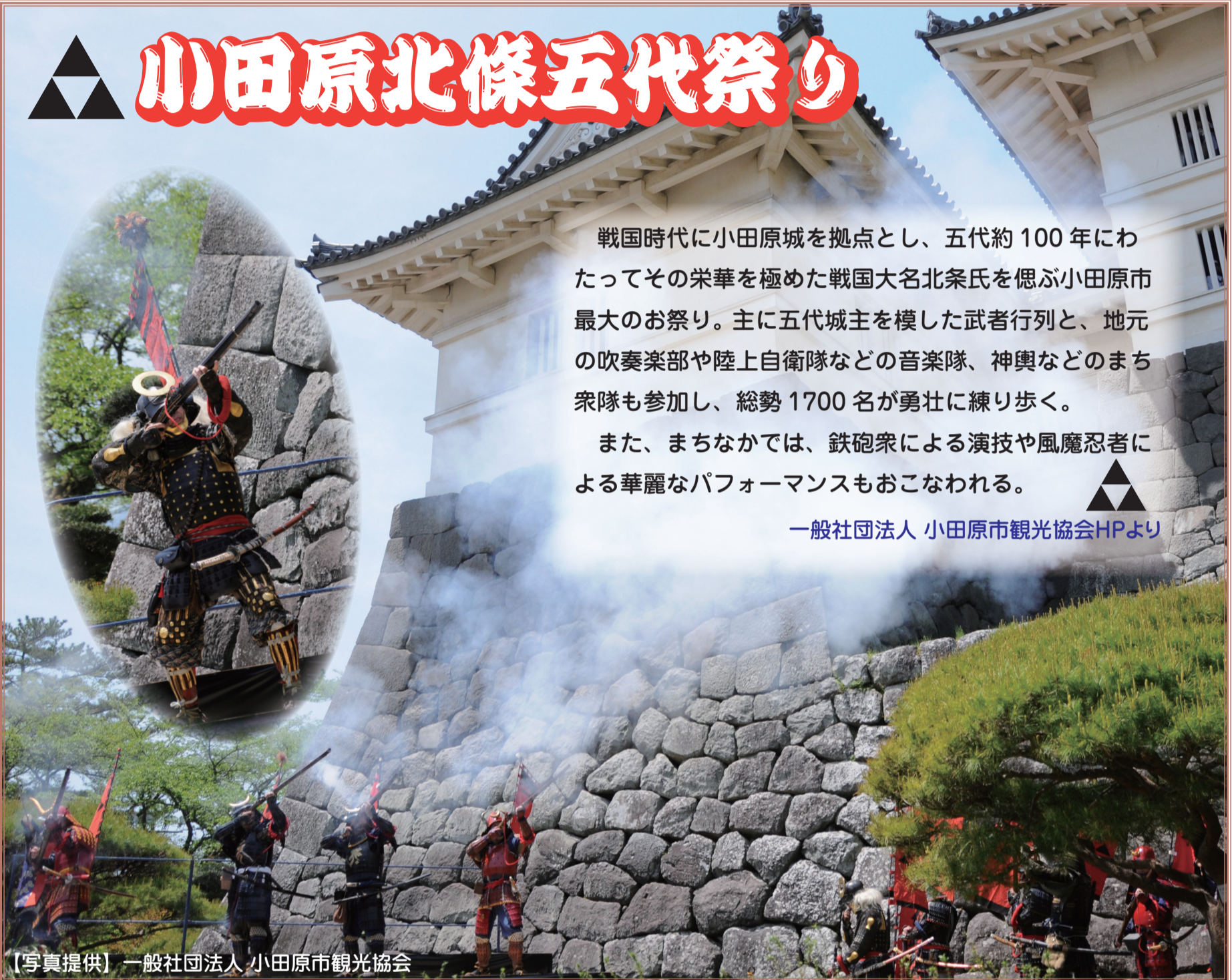
小田原北條五代祭り

戦国時代に小田原城を拠点とし、五代約100年にわたってその栄華を極めた戦国大名北条氏を偲ぶ小田原市最大のお祭り。主に五代城主を模した武者行列と、地元の吹奏楽部や陸上自衛隊などの音楽隊、神輿などのまち衆隊も参加し、総勢1700名が勇壮に練り歩く。

また、まちなかでは、鉄砲衆による演技や風魔忍者による華麗なパフォーマンスもおこなわれる。



一般社団法人 小田原市観光協会HPより



【写真提供】一般社団法人 小田原市観光協会



小田原創友クラブの充実と
活性化を目指して
小田原市老人クラブ連合会
(小田原創友クラブ)
会長 杉崎 勲

平成 25 年度創友クラブの諸活動について、会員皆様のご協力により無事終了いたしました。心より厚く御礼申し上げます。創友クラブの役員改選

は平成年度に入り偶数年が、その年度であり 26 年 4 月に役員改選が行われ 26 地区のうち 10 地区の理事が交代されました。特に 10 地区のうち 4 名

の副会長が交代され、27 年度には創友クラブ創立 50 周年事業が計画されており、記念事業及び 50 周年記念誌の発行など既に準備に入ろうとしているところで非常に苦慮致しましたが、新しく 4 名の副会長が 4 月の理事会の選考委員会で選出され 50 周年記念事業に見通しが立ち安堵しているところでございます。

創友クラブの充実と活性化については毎回、理事会で「老人クラブ」ではなく小田原創友クラブとして健康寿命の延伸また友愛活動の一環として高齢者見守り隊など社会奉仕活動の活性化に傾注していただく様お願いしているところでございます。

就任ご挨拶



総務部長
大井川悦雄

私はこのたび、総務部長の要職を拝命致しました前羽地区の大井川悦雄でございます。前任者の平野義朋様の後継者として、一生懸命に頑張っております。平成 24 年度と 25 年度の 2 年間、体育部長として、皆さま方のご支援によって大過なく勤めさせていただきましたこと、紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

さて、私は小さい頃からスポーツが好きで体育系の分野で育ってまいりましたが、この度図らずも、文教系の役職に就くことになり、緊張の毎日をお過ごし

おります。今年度の市老連では、大きな課題として、会員増強問題を掲げ、一人が未加入者一人をお誘いするというそんな取り組みを行うことになっております。

世の中が様々な形に変化しているなか、老人福祉法の精神である「共助」をもってお互いが人生を歩んで行く。そんな思いであります。未加入者の皆さまには、ご自分の生き甲斐を多様化の波に乗せて、人生を満喫されている様子が伺えます。加入促進のための方策や手段は色々あるところですが、まず組織内の融和を計ることが肝心であると考えます。昨年の 5 月に決定し、命名された創友クラブの愛称は、第 2 の人生を迎えて新たな友を創り豊かに交流し、人生をより高くの意思が込められております。地域内にはこだわら

ず、超越して仲間づくりを心掛けることです。今、会員増強は、必須の課題であります。「組織力は、会員の人数力」です。会員が増加することで、事業運営が拡大され、安定化されると考えます。そのことで、さらに波及効果も期待されると思っております。

今、私の置かれている立場は、前羽地区の単位クラブの会長、そして、前羽長楽会の会長として、地域を大切に、地域発展のために指揮を執らねばなりません。同時に、必然的に市老連の事業の円滑化にも心配りをしております。健康で元気に楽しい毎日を送られますよう懸命に頑張っております。どうぞ、仲間を大切にして創友クラブ発展のために努めましょう。

このたび、女性部長という大役を仰せつかりました、市川でございます。微力な私ですが、女性部会の皆さまと力を合わせて女性部の発展のために活動して参りたいと思っております。どうぞよろしく、お願い申し上げます。



女性部長
市川 初江

まず、今年度の事業として、「食で生き生き・栄養教室」は、高齢福祉課と創友クラブと共催で、開催し運営して参りたいと計画しております。

この栄養教室は、全 9 回の開催予定です。会員の皆さまと近い会場での開催予定です。大勢の方々の参加をお願いいたします。もちろん会員以外の方々もお誘いいただき、創友クラブの活動を、より多くの方に広く知っていただき、会員を増やしてまいりたいと思っております。

メニューは、高齢者向け・高血圧予防・骨粗しょう症予防(バランス食)を、どちらかのブロックで開催させていただきます。教養部が企画しております、「老人大学事業」は、教養部長さまの深いご理解とご協力をいただき、第 1 回から 3 回まで、女性部との同時参加をさせていただきますことになりました。

皆さま方の各事業への参加をお待ち申し上げます。健康で、明るい家庭を作っていただけるよう、楽しく活動してまいりたいと思っております。

ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。これで、就任のあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。



体育部長
小宮 清隆

このたび、小田原市老人クラブ連合会の副会長・体育部長を拝命し、市老連の一端を担うことになりました。何分にも未熟者でございますが、一生懸命職務に励みますので、会員皆様のご支援、ご協力をいただきます。任務を全うしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

市老連体育部には大きい行事が年に4回あります。
①6月に西湘ブロック交流グラウンドゴルフ大会が酒匂川スポーツ広場で開催。
②9月に体力測定「健康づくり教室」が小田原国際医療福祉大学体育室で開催予定。
③10月にシルバースポーツ大会が、酒匂川スポーツ広場で開催予定されており、この大会は市老連に加盟する26地区143単位クラブの会員で実施されます。
④11月に小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会が酒匂川スポーツ広場で開催予定されており、特に、会員皆さまに多数参加をいただきたいのが、シルバースポーツ大会で、大会趣旨であります高齢者の健康保持と生きがいを高めるため

にシルバースポーツ大会を実施し、もって高齢者福祉の増進に資することを目的とする。とありますので、日楽しんでもらうことが第一と考えます。無理して転ばないように、そして怪我をしないこと、ルールとマナーを守って下さい。
他地区の会員さんと楽しく交流していただいで参加された皆さまに今日は楽しかったねと言っていただけ行事にしたいと考えておりますので、会員皆さま方のご協力を切にお願い申し上げます。



厚生部長
北村 時夫

平成26年度役員の改選により退任者があり、厚生部長という重責ある職務に就任することになりました。業務内容としては、研修旅行、友愛チームなどであり、

▼研修旅行について

主に従来通り『2泊3日』を考えていますが、時には『1泊2日、日帰りバス』を考える必要もあります。実際に旅行に行くと全員が満足するということはないと思います。遠いから良いとか近いから良いとか、いろいろ言われていますが、どちらを選ばにしても

楽しくゆとりのある旅行をしたいものです。1〜2カ所を選んで散策する時間を設けることも必要かと思えます。
厚生部で検討したことを常任理事会に報告、再度検討し、最終的には理事会で決定しています。会員の皆さまの参加によって今後の小田原創友クラブの活性化と、親睦の輪が広がり、有意義な研修旅行になると思えます。是非、一人でも多く参加をお願いします。
過去の実績と会員にアンケートなどで意見を聞き、参考にしながら木目細かく検討し執行します。

▼友愛チームの関係

友愛チームの活動内容について、まだ勉強不足ですが、過去の実績を参考にしていきたいです。友愛チームは、さまざまボランティア活動が進められている中、地域福祉推進の担い手となつて活動を重ねてきました。本年も友愛チームの研修会を、在宅の見守りが必要な高齢者や高齢者世帯を訪問し支援活動を行っている友愛チームの資質向上を図ることを目的に開催します。この研修会では、単位クラブに依頼し実例発表をしてもらったり、グループごとに情報交換、発表をしたりしています。

上記以外で開催される、一市三町のリーダー研修会にも積極的に参加し、今後

の活動に生かしたいと思えます。
また、諸団体との交流を密接にしながら活動することを大切にしています。私がある時地区の視察研修に行った時のことですが、

▼地域の合言葉

あいさつは幸せづくりの第一歩みんなで創る、向こう三軒両隣支えは宝なり
今後は、厚生部の仲間と一緒にこれを合言葉として頑張っていきますので、会員の皆さまのご支援ご協力をお願いします。



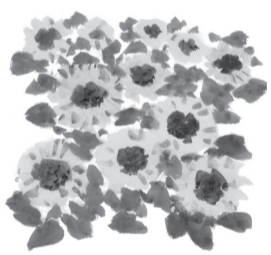
教養部長
大友 昭夫

このたび、教養部長の要職を拝命いたしました大友でございます。前任者の穂谷野克巳様のこれまでのご功績にたいしまして、心からの感謝をささげますとともに、これからも創友クラブのために微力ながら私も、最善の努力をして参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

教養部の主な事業といたしまして、
1、「小田原創友クラブ」の年2回の発行(1月・8月)は、広報紙として特に会員相互の情報提供を広く求め、各単位クラブの紹介

などを企画し、多数の方々参加をお願いいたします。
2、「老人大学・年間5回の開講」は、今年度から受講者数も50%増加120名とし、まずは「健康」というキーワードで、会員の有意義なこれからの生活のために、相応しい講座を予定しております。
3、地域連携モデル事業として、「小田原漆器体験学習」を前年に引き続き開催を計画しております。
また、小田原には前代から受け継いできた貴重な文化も多く、秋のシルバー作品展の参加者や、出展件数増は、文化・芸術に対する関心の高さを示しているものと思われまます。これらも各地域での、シルバー世代の文化振興をめざして、たゆみない前進をつづけていただきたいと思います。

最後に小田原創友クラブのさらなる発展と向上に寄与すべく皆さま方のご協力とご支援をいただきます。教養部のみなさんと共に、活動することを誓って就任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



総会開催



平成 26 年 5 月 22 日（木）午前 10 時 30 分よりおだわら総合医療福祉会館 4 階ホールにて平成 26 年度総会が開催されました。

大友副会長の司会で始まり、まず役員改選で選出された方々の紹介がありました。続いて杉崎会長のあいさつ、来賓の小田原市福祉健康部の山崎部長より祝辞をいただきました。

そして上府中地区・高田第一福寿会の足立会長が議長に指名され議事に入りました。

最初に平成 25 年度事業報告、平成 25 年度一般会計収入支出決算報告、福祉友愛募金特別会計収入支出決算報告の説明があり、監査報告、質疑応答の後、議案は拍手をもって承認されました。

次に平成 26 年度の事業計画案、一般会計収入支出予算案、福祉友愛募金特別会計収入支出予算案、50 周年記念特別会計収入支出予算案の説明があり、こちらの議案も拍手をもって承認されました。

最後に小宮副会長より閉会のことばがあり無事終了しました。



平成 26 年度新役員名簿

役職	氏名	地区名
会長	杉崎 勲	市老連専任
副会長・総務部長	大井川悦雄	前羽
副会長・厚生部長	北村 時夫	久野
副会長・教養部長	大友 昭夫	上府中
副会長・体育部長	小宮 清隆	曾我
副会長・女性部長	市川 初江	芦子
財務	浅岡 緯	緑
財務	宮本多喜子	片浦
監事	山口 忍	山王網一色
理事	石井 宏安	曾我
	高橋 孝一	新玉
	伊豆川 毅	万年
	朝見 健夫	幸
	田丸 勇雄	十字
	額田 忠	足柄
	上原 宏平	芦子
	小林 良造	二川
	熊坂 太郎	富水
	本間 豊	東富水
	鈴木 幸一	大窪
	秋山 和雄	早川
	山口 繁	山王網一色
	志村 善治	下府中
	小澤 勝	桜井
	水野 宏	豊川
	近藤 義栄	下曾我
	鈴木 清治	国府津
	栗原 稔育	酒匂
	峯尾 茂明	下中
	井藤 英一	富士見

平成 26 年度西湘ブロック老連交流
グラウンドゴルフ大会
表彰者名簿

6 月 4 日（水）開催。1 市 3 町から 95 名参加。

① 入賞

順位	氏名	スコア	ホールインワン
優勝	小田原 鷲頭 喜作	38	1
準優勝	箱根 田中 勇	42	1
3	小田原 加藤 弘	42	
4	箱根 小野谷秀明	43	1
5	小田原 湯川 稔夫	43	1
6	小田原 青木 靖夫	43	1
7	小田原 川瀬盛三郎	44	1
8	湯河原 勝俣 利男	44	
9	箱根 勝俣 興一	44	
10	小田原 鳴島 好夫	45	

② BB賞

順位	氏名	スコア
94	真鶴 高橋 万枝	68

③ ホールインワン賞

氏名	氏名
1 小田原 鷲頭 喜作	11 小田原 川瀬 靖元
2 箱根 田中 勇	12 湯河原 新井美佐子
3 小田原 湯川 稔夫	13 箱根 和田 千代
4 小田原 青木 靖夫	14 真鶴 内藤 昌子 (2回)
5 箱根 小野谷秀明	15 小田原 岩沢 俊弼
6 小田原 川瀬盛三郎	16 湯河原 常盤 貴枝
7 小田原 新井 知功	17 湯河原 藤護 勝彦
8 箱根 勝俣うめ子	18 小田原 府川 肇
9 湯河原 丸塚 博康	19 箱根 松井 金造
10 箱根 田附 たけ	20 真鶴 中居美弥子



平成26年度 第49回 小田原市老人大学

① 趣旨

高齢期における生活に潤いを与え、かつ充実した生きがいのある生活を送るにふさわしい教養を培うことを主眼としてこの大学を開催する。

② 主催

小田原市老人クラブ連合会

③ 日程及び内容

	日時	内容	講師
第1回	7/30(水) 13:30~ 15:30	開講式 ・講話 「健康のために出来ること 高血圧予防」 ～小田原市の現状と血圧測定 の重要性について～	小島クリニック 院長 小島 時昭氏
第2回	9/10(水) 13:30~ 15:30	・講話 「お口の健康づくり」	須田歯科クリニック 院長 須田 寛紀氏
第3回	11/6(木) 13:30~ 15:30	・講話 「びんびんころりで 楽しく長生きをパート2」	富田医院 院長 富田さつき氏
第4回	1/13(火) 13:30~ 15:30	・講話 「介護予防って何？」 ～10人に1人は認知症～	小田原市高齢福祉課 副課長 鈴木 富子氏
第5回	2/10(火) 13:30~ 15:30	・講話 「介護保険って何？」 ・閉講式	小田原市介護保険課 保健師 小川 泉氏

④ 会場

おだわら総合医療福祉会館 4階ホール

⑤ 受講者

定員120名(女性部員30名を含む、尚非会員の参加も含む)

⑥ 修了証書

4回以上出席の方に授与

※ 受講者は筆記用具をご持参ください。

※ おだわら総合医療福祉会館には駐車場がありませんので、車はご遠慮ください。

ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成26年度 事業計画

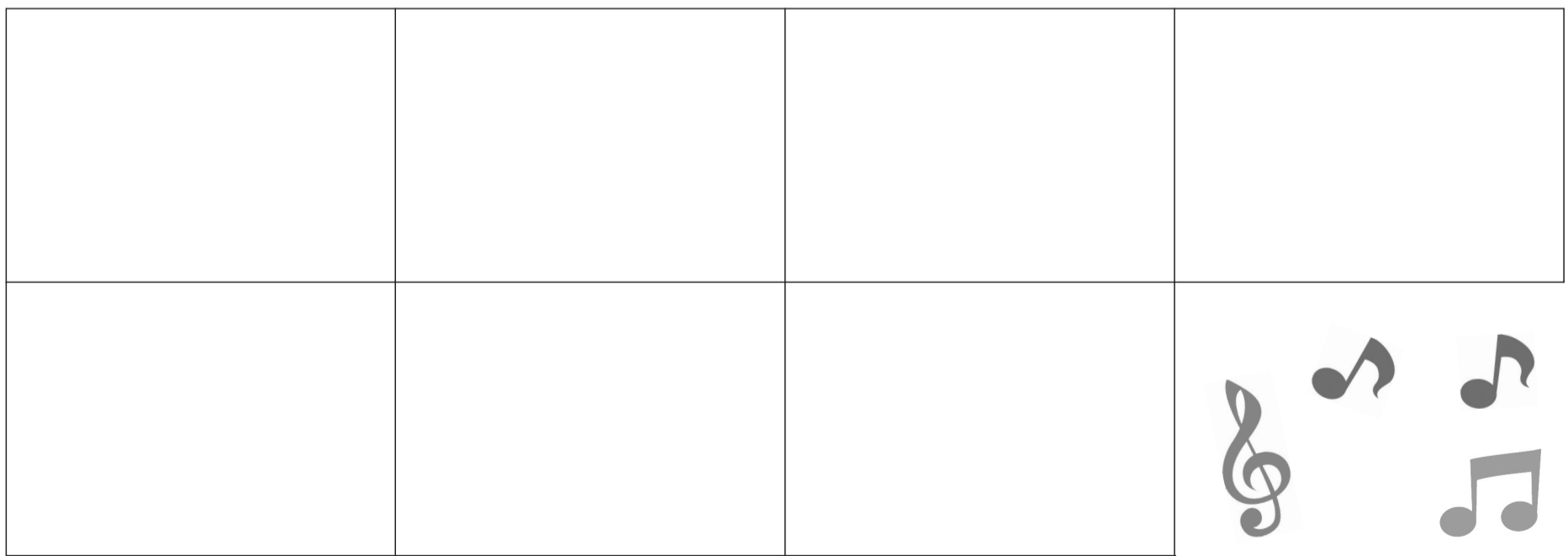
- (1) 平成26年度市老連総会・・・〔5月22日(木)〕
- (2) 第48回市老連大会・・・〔11月11日(火)〕
- (3) 社会奉仕の日・・・〔9月20日(頃)〕
- (4) シルバー作品展(通算46回目)・・・〔10月18日(土)～19日(日)〕
- (5) 第41回小田原市シルバースポーツ大会
〔10月28日(火) ※ 予備日29日(水)〕
- (6) 単位クラブ会長研修会・・・〔2月4日(水)・5日(木)〕
- (7) 社会見学と研修旅行・・・〔春:4月…日本海の幸と絶景「佐渡」〕
〔秋:日程・方面未定〕
- (8) 小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会〔11月26日(水) ※ 予備日27日(木)〕
- (9) 第49回小田原市老人大学・・・〔7月～2月:全5回〕
- (10) 女性部研修会・・・〔4月～1月:全9回〕
- (11) 小田原市慰霊塔清掃奉仕・・・〔5月～3月〕
- (12) 福祉・健康祭り・・・〔8月7日(木)〕
- (13) 地域開放・連携モデル事業・・・〔2月予定〕
- (14) 広報誌『小田原創友クラブ』の発行(年2回)
- (15) 友愛募金運動の推進
- (16) 友愛チーム活動の推進
- (17) 小・中学校の児童・生徒との交流
および防犯ボランティアパトロールの推進
- (18) 青少年育成会に協力
- (19) 健康づくり(体力測定等)事業の推進
- (20) 単位クラブの強化推進(加入促進委員会の推進)
- (21) その他、小田原市および地区の行事に参加協力

【西湘ブロック関連事業】

- ① 西湘ブロック老連連絡協議会の開催
- ② 西湘ブロック交流グラウンドゴルフ大会(6月4日(水))
- ③ 高齢者訪問支援推進員養成研修会〔8月27日(水)真鶴町〕
- ④ 単位クラブリーダー新任会長等研修会〔9月17日(水):湯河原町〕
- ⑤ ゆめクラブ大学事業〔10月9日(木) 開催:小田原市〕

【その他の活動】

- ① 国旗掲揚の推進
- ② 在宅福祉事業への協力
- ③ 交通事故防止の推進
- ④ 高齢者健康診断及び健康講座への参加
- ⑤ 歩け歩け運動への参加協力
- ⑥ 敬老週間行事への参加協力
- ⑦ 環境美化活動の推進
- ⑧ 小田原市シルバー人材センターへの加入促進
- ⑨ 県老連事業への参加協力



市老連主要行事報告

（平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月分）

月	日	事業（会議）名	内 容	場 所	
10	30～10/2	秋の旅行	第3班 下府中・富士見・新玉・下中・山王網一色・豊川	奥飛騨温泉と加賀の名湯・山中温泉2泊3日の旅	
	1～3		第4班 曾我・上府中・酒匂・前羽・桜井・緑		
	2～4		第5班 足柄・富水・万年・下曾我・東富水		
7	女性ブロック長会議	生きがいふれあいフェスティバル準備	社会福祉センター		
		慰霊塔清掃	早川・下府中・緑	市慰霊塔	
10		西湘ブロックゆめクラブ大学	・講話「認知症と低栄養」 講師 管理栄養士 古澤氏 市高齢福祉副課長 鈴木氏 ・高齢者用食事の試食 ・講話「高齢者の健康」 講師 神奈川県立栄養短期大学 名誉教授 一寸木宗一氏 ・講話 ・体験「介護予防のための筋力トレーニング」 講師 県老連指導員 松田冴子氏	社会福祉センター	
15		財務部会	上半期予算執行状況確認		
18		常任理事会 理事会	・アクティブシニア応援ポイント事業について ・第47回市老連大会について ・生きがいふれあいフェスティバルについて ・友愛チームリーダー研修会について ・第40回シルバースポーツ大会について ・福祉友愛募金について ・25年度県老連理事長表彰審査結果について		
18			シルバー作品展搬入 シルバー作品展展示	いそしぎ 保健センター	
19～20		生きがいふれあいフェスティバル	シルバー作品展展示 三世代交流事業		
			シルバー作品展搬出		
21		理事会	秋の旅行欠席者返金		
		シルバー スポーツ大会 実行委員会	第40回 シルバースポーツ大会について		
28		第40回 シルバー スポーツ大会	準備	酒匂川 スポーツ広場	
30			優勝 前羽地区 準優勝 十字地区 第3位 富士見地区		
11	5	中間監査 常任理事会 理事会	・中間監査報告について ・第47回市老連大会について ・小田原創友クラブグラウンドゴルフ大会について ・西湘ブロック「単位クラブリーダー研修会」について ・西湘ブロック「高齢者訪問支援活動推進員研修会」について ・春の研修旅行について ・懇親忘年会について 他	社会福祉センター	
	9		慰霊塔清掃	市慰霊塔	
	12		第47回小田原市老人クラブ連合会大会	市民会館	
	14		老人大学第3回 女性部と 医師との対話集会	・講話「びびんころりで楽しく長生きを」 講師 富田医院 院長 富田さつき氏	
	19		友愛チーム リーダー研修会	・基調講演「高齢者を訪問するときの心得」 講師 市高齢福祉課 黒澤千枝氏 ・事例発表 ・グループごとに情報交換・発表	社会福祉センター
	22		女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き！栄養教室」 (Fブロック 国府津・酒匂・前羽・下中・富士見地区対象)	保健センター
	25		小田原創友クラブ グラウンドゴルフ大会	準備	酒匂川 スポーツ広場
	26			大会開催	
	27		西湘ブロック単位 クラブリーダー研修会	・講演「老人クラブリーダーの育成」 講師 神奈川県老人クラブ連合会 事務局長 小澤 茂氏	真鶴 町民センター
	29		教養部会	「小田原創友クラブ」第62号について	社会福祉センター

月	日	事業（会議）名	内 容	場 所	
12	4	常任理事会 厚生部会	・春の研修旅行入札 ・会員加入促進の推進について ・単位クラブ会長研修会について ・春の研修旅行について ・老人クラブ開放・地域連携モデル事業について ・西湘ブロック「高齢者訪問支援推進員養成研修会」について 他	社会福祉センター	
	5	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き！栄養教室」 (Eブロック 下府中・豊川・上府中・下曾我・曾我地区対象)	梅の里センター	
	6	西湘ブロック 「高齢者訪問支援 推進員研修会」	・講演「呼吸疾患を予防しよう」 講師 かながわ健康財団 西村幸子氏 ・情報交換	箱根町老人福祉 センター やまなみ荘	
	10		慰霊塔清掃	十字・二川・下曾我	※ 雨で中止
	24		教養部会	「小田原創友クラブ」第62号について	
	25		体育部会	倉庫内の体育道具片付け	
	1	9	常任理事会 理事会	・単位クラブ会長研修会について ・春の研修旅行について ・県老連「加入促進月間」について他	社会福祉センター
	16	老人大学 第4回	・講話「筋肉の不思議」 ～80歳でエレベースト登頂も可能な能力～ 講師 県老連介護予防・生きがい づくり支援員 松田 冴子氏		
	17	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き！栄養教室」 (Aブロック 緑・新玉・万年・幸・山王網一色地区対象)	保健センター	
	29～30	単位クラブ 会長研修会	講演「成人病について～生活習慣病～」 講師 小田原市立病院 総合診療科 部長 岡田 拓也先生	ホテルおかだ	
2	13	老人大学 第5回	・講話「介護保険制度について」 講師 小田原市介護保険課 神谷美智子氏 ・閉講式		
3	4	老人クラブ開放・ 地域連携モデル事業 「小田原漆器体験学習」	小田原漆器「お盆」研ぎ出し 講師 池谷元弘氏 参加者 65名		
	5	常任理事会 理事会	・いきいき健康切符事業「高齢者保養費の助成」について（高齢福祉課） ・平成26年度単位クラブ補助金について（高齢福祉課） ・春の研修旅行について ・友愛チーム関係書類について ・役員改正について ・地区老連女性部員代表者会議「女性部会」について ・平成26年度単位クラブ役員等報告書の提出について 他	社会福祉センター	
	10		慰霊塔清掃	酒匂・久野	市慰霊塔
	18		厚生部会	春の研修旅行冊子作成	
	20		旅行責任者会議	春の研修旅行説明	
	25		理事会	・役員改選について ○常任理事および部門部長の選任について ○監事（2名）の選任について ○各部門の理事の選任について ・平成26年度慰霊塔清掃奉仕の日程（案）について ・100歳会員の調査について 他	社会福祉センター
	26		市老連 事務室移転	・新事務室 〒250-0055 小田原市久野 115-2 おだわら総合医療福祉会館内 4階 団体事務室	



市老連 旅行記

佐渡を旅して
寺町桐寿会
加藤 英雄



「トンネルを抜けると目の前に、車窓いっぱい大きな雪山が迫ってきた。バスの中から「おおー」と声が上がった。また、遙か遠くには雪をかぶった北アルプス、南アルプスの山々が姿を見せて、息をのむ風景にしばし見とれるのみ。朝から晴天に恵まれたとはいえず、遠く山々に雲一つない空にガイドさんは「長いこと仕事をしてきたが、こんな天気ははじめて経験した」と漏らすほどの天候に恵まれ、また、ドライバーの「今日一日安全運転をします」との一声でスタートした第3班の佐渡の旅は素晴らしい景色の連続だった。

小木の港までの船旅は、揺れもあったが船内での仲間たちとの一杯の味は格別。船外で餌を求めて集まるカモメの群れと戯れているうちに佐渡へ着く。佐渡で驚かされたことは、この島が、沖繩に次いで日本で2番目に大きい島であること。佐渡への航路は国道に なっていること。小田原より学校が多いということだ。

2日目はいよいよ佐渡の旅、ぶどう畑のように広がる柿畑を見ながら素晴らしい岩々が立ち並ぶ尖閣湾を見学、続いて見学した宿根木の集落は心に残った。中世のころより千石舟が行き来し佐渡の富の3分の1を得ていたというが、100ヘクタールの地に110軒の家が重なり合う集落にどんな生活が営まれていたのか、心に残る地であった。

たらい舟体験は、不安だからと漏らしていた仲間が嬉々として乗っている姿が印象的だった。ま

た、砂金採り体験では、一攫千金のつもりか、皆夢中。2日目の宴会は、郷土芸能を観て、皆さんのカラオケを聞いて、のんびりと、楽しいものだった。

有名な宿、八幡館に宿泊し3日目の朝を迎え、朝食前のひと時、メンバーの一人が「今日帰るのか、もう一晩泊まりたいな」と声があり、続いて皆から佐渡の想いが次々に語られ歌ができた。

・二日泊まりのはづなのに別れられずにもう一夜
・佐渡へ佐渡へと佐渡おけさ 家路についても佐渡おけさ
・くるくる回るたらい舟
我が恋いもから回り
時すぎてもぐるほど想
いが募る宿根木の郷
・不安心で乗ってほめた
が おけさ笠のあの笑顔
も一度乗りたいたらい舟
この日も朝から快晴、
トキの森公園を見学。野
生のトキにあえなかつた
が、思い残すことはない
かった。帰りの船は穏やか、
バスは雪の残る風景を見せながら一路帰途へ。

行きの船では、船酔いで体調を崩された方もおりました。皆さん元気で、そして心に残る佐渡



の思いを抱いて家路についた。

ドライバさんの安全運転、ガイドさんの多くの案内、添乗員さんの気配り本当にありがとございました。素晴らしい旅だった。

春季研修旅行・ 早春の佐渡 ベストルート 佐渡を旅して 池寿会 市川 初江

車窓より少し雪けむりがあがる美しい富士山を眺め、順調にバスは進んでいく。雪をかぶった山々の全景の美しさを眺めながらのコーヒータイム。笹子トンネルを抜けると、桃が二分咲き桜も咲き、桃色に染まった甲州盆地がお出迎え。雲一つない青空で気持ち良

旅程を進む。予定のとおり直江津港よりフェリーに乗船。楽しい時間はあっという間に、小木港へ到着。お出迎えのバスに乗り宿泊先の八幡館へむかい、足を伸ばしてほっと一息。

2日目を迎え、景勝地めぐり。夫婦岩・尖閣湾・展望台からの絶景。荒波にもまれ、侵食してできた断崖が続く。海の青さも気持ちが良い。さすが絶景！来た甲斐があった。素晴らしい神秘的な全景に目を向けていると、ガイドさんから「君の名は」の口ケ地であり、当時マチコ巻が流行した話を伺った。雄大な自然に感激しながらの時間を過ごした。

その後、たらい舟体験と蓮華峰寺参拝に分かれ、私はたらい舟体験を選んだ。初めは怖々としたへっぴり腰での乗船。おけさ傘の船頭さんの案内で、順調に腰を掛け童心にかえりながら笑顔いっぱい楽しい時間を過ごした。その後、宿根木集落「舟形家屋の街並み史跡散策」。昔ながらの石畳の路地と北前船の里、狭い地形での街並み見学。継承していく素晴らしい生活を垣間見ることができた。

西三川ゴールドパークでは「砂金採り体験」体験型施設であり、小さな砂金を見つけるのに、水の中で砂をふるいにかける。根気がいる作業であった。ここでもみんなの必死の形相を確認しながら、熱中しての砂金採り。採れた砂金で記念品として作っていただいたストラップ。大切に使う！と心に留めた。

3日目を迎え、自然界での「トキ」を見ることが出来るか？車窓からの楽しみであったが、残念ながら見る事ができなかった。トキの森公園に寄り、羽を広げオレンジ色の内側羽を確認することができた。さすが天然記念物「トキ」である。きれいな鳥である。

楽しい佐渡の行程を進み、あっという間に両津港から新潟港までフェリーに乗船。車窓からの眺めは、真っ赤な夕日山々に照らし映し出される。バスも旅路のとおりに帰路に向かう。春季研修旅行が終わりに近づく。

3日間が天候に恵まれ、天気に勝る景勝はないと思いつつ、参加者全員が無事に楽しい研修を終えた。また、秋季研修旅行の楽しみが始まった。



単位クラブ活動報告

上府中地区

高田第一福寿会

会長 足立 隆雄

●会員数

男性	38名
女性	27名
合計	65名

●クラブ結成時期

昭和35年9月26日

高田第二福寿会

会長 内田 温雄

●会員数

男性	40名
女性	36名
合計	76名

●クラブ結成時期

昭和50年4月1日

地勢環境

上府中地区の南東部に位置し別堀を含む高田は、往時は集落の台地と田園が広がる自然に恵まれた閑静な農村でした。

昭和29年に小田原市に合併し、同30年代に入ると企業が進出し会社、工



場の建設が始まり、その後には市の浄水場と隣接して運動広場が開設されました。近年では集落の中を東西に穴部国府津線が開通し、大型店舗ができるなど都市化が進んでいます。人口も合併当時の6倍を超え現在は3,468人で増加の著しいところですが。

主な活動

毎月半ばに行なう神社境内、公民館の周辺、遊園地、緑地、道路などの清掃を午前中に、午後からは事業、行事の成果やその報告、そして来月の予定行事の協議などの定例会とその月の誕生日、終わると茶菓子をいただきながらのカラオケや懇親、よもやま話で一日を過ごします。

由来沿革

会の設立は世相も漸く落着き、小田原城天守閣が復興され、人口も12万人を超え、国では所得倍増計画が打ち出され、老人の増加と福祉を考える時代を迎えたところの昭和35年9月16日に、小田原市長に会員66名の名簿を添えて老人クラブの結成届が提出され、26日には盛大に発会式典が挙行されました。会の名称の高田は地名を冠し、皆の幸福と長命を願い「高田福寿会老人クラブ」と命名したといわれています。

そして、昭和40年代に入ると会員が増え1000名を超えたため、同50年4月1日に地域を2分割し、会を第一と第二とさせ、活動はすべて共にしています。さらに、活動が活発になり各地で会旗

が作られていることから当会でも新調し、昭和51年12月22日に錦の会旗が神社に飾られ神官を招いて入魂式が行われました。



また、会には2つのクラブがあります。グラウンドゴルフクラブは会員31名で、毎週2回プレーをし健康の保持増進と親睦を深めています。技術も高く各種の大会に出場し、いつも優秀な成績を上げています。

カラオケクラブは20名の会員が毎月2回集まり、楽しく喉を競っています。友愛チームは、昭和49年に発足し活動を続けています。

最大のイベント

敬老会をしていた青年団や婦人会は、時代の移ろいとともに衰退し、昭和43年で終わり翌44年から名称を「福祉大会」と

し会員が企画立案、業務を分担運営し祝祭行事を行って行きます。この大会には大勢の会員が集まり、傘寿、米寿などの方たちに記念品を贈り祝福する式典と祝宴、余興を楽しみます。

この大会を始めてから10年余は、役員は寺に行き住職と、眠る会員の慰霊法要、墓参をし、午後には神社で神官を招き長寿祈願祭を行なうから公民館で大会を開いていました。

地域の絆

自治会や公民館の活動などそれぞれの分野の団体が行う健康祭、鎮守の祭禮、文化展、納涼祭、防災防犯講話、交通安全教室、社会見学などなどの行事には、積極的に参加、協力、参画し、ときには助言をして、福寿会は礎となつて安全、安心で心豊かな潤いと活力ある地域づくりを努めています。

久野地区

宮本あゆみクラブ

会長 北村 時夫

●会員数

男性	29名
女性	52名
合計	81名

●クラブ結成時期

昭和47年5月1日

久野地区には、3クラブがありそれぞれ発足の年度は異なるが、どれも諸先輩が築きあげた会であり現在に至っています。今回は、宮本あゆみクラブを紹介いたします。

クラブの運営は、地区別に班組織で1班7人、班長が会員の統制をしています。昭和47年5月に「宮本老人クラブ」として発足し、当時の会員数は130名くらいであったと聞いておりますが、現在は81名の会員で活動しています。

平成20年には、会員から名前を変えたらとの意見がささやかれ、検討した結果、新名称「宮本あゆみクラブ」となりました。

地区の行事としては、年2回7月と11月に定例会として、交通安全講話会を開催しています。11月は午前に講話会を開催し、午後は自治会の防災訓練が開催されるので参

加する予定です。昼食は会より支給します。(講話会の講師は警察署、第2地域包括支援センターなど) 特にお茶のみ会については人気があり、開催する毎に参加者が多くなっています。これは会員の希望により、会費制となっています。

他に、日帰りバス、湯治旅行、ペタンク大会など、社会奉仕については、公民館の清掃、花壇の整理、久野川の清掃など、一部では、小学生の登校時の見守り活動など行っています。(ボランティア活動)

- ① 会の運営方針としては会員の加入を勧める(目標100名)
- ② くれあい交流活動
- ③ 地域の人との接触笑顔
- ④ 必ずありがとうの言葉

曾我地区

高砂会

会長 小酒部一猛

●会員数

男性	36名
女性	43名
合計	79名

●クラブ結成時期

昭和47年4月1日

(文：前会長 枝野伊佐夫)

当会は発足時より80名前後の会員数で推移して



いる。会員の45%が後期高齢者で、入会適齢期の60歳の方に声をかけても「まだ早い」と、会員の増加に結びつかない。

当会を取り巻く環境は農村地域である。専業農家は少ないが、兼業農家で定年退職後、農業を営む人達も多い。家族構成も少子高齢化で一人暮らしを余儀なくされる現実と隣り合わせにある。このような環境にあるクラブ

運営について考えてみた。

従来より、年1回の1泊温泉旅行(いきいき健康切符利用)・年2回程の茶話会・新年会などで親睦を図ってきた。

出席率も毎回40%前後で、出席率を上げる工夫もしている。身近な話題として、振り込め詐欺にあわないために「消費生活ミニ出前講座」を活用したり、近隣の婦人会に寸劇をお願いし、日頃顔見知りの人たちのもう一つの顔に触れ、大笑いした。

一方、様々な理由で出席できない方々も少なからずいます。そこで市老連からの呼びかけもあり、友愛活動の一つとして「見守り隊」を結成し、試行錯誤を重ねている。これには地域の自治会、民生委員、ボランティア活動グループ、老人クラブが加わって活動することで範囲も広がると期待している。一番の関心事である孤立・孤独死防止の一助となればと期待される。しかし活動には限界もあり、あまり深入りはできない。

前羽地区

町屋長楽会

会長 大井川悦雄

●会員数

男性 21名
女性 18名
合計 39名

●クラブ結成時期
昭和34年9月10日

●クラブ名の由来

前羽地区の会名が、健康で長生きするためには、日頃から緊張をもって楽しみましょう...となっています。従って私たち単位クラブでも、町屋地区の名前に「長楽会」を取り入れて会名とした。

●普段の活動

毎月の奇数月の10日を役員会、偶数月の10日を定例会として、会員同士で楽しんでいきます。定例会では、茶話会として、お茶を飲みながら、思いで話などをやっています。特に人の前で話をする勇氣を養うこと、おしゃべりによる脳への刺激などで元気が出るという医師の教えなどで会話を楽しんでいきます。また近年、筋肉の衰えから歩行などにも影響が出ているので、筋肉のトレーニングをやっています。

●他のクラブには負けな
いまた自信のあることは

特筆するようなことはありませんが、8月16日は、お精霊送りを行っています。町屋海岸において、町屋地区の皆さま方のお宅で、お盆行事の際、ご先祖様に供養のために飾った品々を、ゴミとして捨ててはもったいないということ、海岸で炊き上げを行っています。町内のうちで、仏壇をもっている方々には、大変喜ばれています。

●今後の目標は

会員が高齢化のため、公民館に歩いて、定例会などに出席できない人が増えてきた。そこで、現在の会員には、手や足を使った運動を事業に多く企画していきたい。また、70歳代の人を会員にお誘いして、会の運営を多岐にわたって、行えるようにしたい。

前羽地区

中宿長楽会

会長 廣澤 節子

●会員数

男性 23名
女性 33名
合計 56名

●クラブ結成時期
昭和46年10月1日

●クラブ名の由来

地区名が中宿ですので、前羽長楽会の「長楽

会」をとって中宿長楽会とした。長く楽しんで過ごそうとの思いです。

●普段の活動

4月、総会
6月、月例クラウンゴルフ大会・日帰りバス旅行
9月、敬老会
10月、シルバースポーツ大会に参加・慰霊塔清掃
12月、忘年会
1月、新年会
奇数月は公園の清掃

●他のクラブに負けな
い自信のあること

毎月の定例会などで、ハーモニカの調べに合わせ童謡や歌謡曲を全員で歌っています。特に配慮することは、その季節に合った歌を選曲しています。四季の歌、ふるさと、めだかの学校などは、手話を教わりながら歌っています。子どもの頃に覚えた歌はみんなが唄えます。また、ビンゴゲームを毎回やっています。賞品は日用品と調味料です。

●今後の目標

いつも明るく楽しい会を目標に、今日一日、笑顔で楽しかったと思える会にしたいと思っています。リズムに合わせて、体操をしたりして体を動かすこと、健康が一番です。

会員投稿 ①

電話

富水地区

飯田岡第一寿会

下沢 芳郎

昭和18年、18歳の私は

新社員としての初出勤の日、事務所の机に緊張した面持ちで座っていたところ、目の前の電話がなりました。

あいにく周りに誰もいなかったのでおそろおそろ受話器をとり耳に当てました。うろたえている私に少し離れた席から「逆さ

まだよ」と声がかかりました。なんと受話器を逆さまに耳に当てていたのです。

18歳にもなっていて、なんでも思われるでしょうが、私は生まれてからその日まで電話をかけたことも受話器にさわったこともなかったのです。

昭和18年頃は、まだ一般家庭には電話が普及していなくて電話があるところは裕福な家が事業所や商店だけでした。

どうしても電話をかけたいときは、近くの電話のある家で借りるわけで、わが家への電話はその家から取り次いでもらうわけです。

親戚や知人には、その家の電話番号を知らせておくわけです。

電話がなくてなにかと不便だったと思うでしょうが、その頃はそれが当たり前のことだったので不便だなんて思っていないなかつたと思います。

今の世の中、小学生からお年寄りまでケータイ電話を使いこなしているのを見て、あらためて時代の流れを感じます。



まちがいさがし

5つのまちがいをさがしてね



Copyright © 2014 by Oda Original Friends Club. All rights reserved.

会員投稿 ②

人生雑感②

新玉地区

老友会

高橋 孝一

前回の投稿より早一年経ってしまいました。今回は何を書こうかと悩みましたが、やはりこの年になりますと、老人の自立しな

私友人は、朝食は午前7時半、昼食は12時、夕食は6時と決めているようです。それが少しでも遅れると、奥さんに怒るそうです。現役で働いているときなら、それもいいのかもしれませんが、退職して何年も



と、「何時に帰ってくる、俺の飯はどうする」そういう言葉を何度も聞きます。山奥の一軒家じゃないのですから、「コンビニの一軒や二軒はあるでしょう。一食や二食弁当を買ったって、パンを買ったって、凌げるでしょう。特に男はなかなか自立できないのかもしれない。悪い例は過去の姿ばかり追っているからでしょう。退職してしまえば「ただの人」それがなかなか理解できないのが、男だと思

な年の取り方ができないかと思えます。後で自分が嫌な思いをする周囲も迷惑をすると考えないのですかね、私たち老人はもう少しいい年の取り方をしたいと思えます。それには一にも自立、二にも自立、自分でできることは、他人をあてにせず、とにかく自分でする、これが基本だと思えます。また日本には素晴らしい言葉があります「ありがとう」いつも言っていたいです。感謝の気持ちをちょっとした言葉の後での「ありがとう」これを言われて怒る人はいないと思えます。なにしろ「ただ」ですから。何かとりのめないことばかり書きましたが、これも雑感ですからどうぞお許し下さい。では、ここいらでお茶といたします。「お茶を入れてください。お茶菓子もね」



平成26年度 市老連秋季研修旅行 ~早めの到着・湯つたりのんびり・2泊3日の旅~
【世界遺産】日光二荒山神社 “健康長寿” 祈願
秋景色日本ロマンチック街道と軽井沢
温泉番付東の横綱草津温泉と絶景の溪谷美鬼怒川温泉
(お1人様) 37,000円

Table with 2 columns: 日程 (Itinerary) and 行程 (Route). It details the 3-day trip including destinations like Nikko, Kawajiri, and various hot springs.

※ この旅程は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路状況等により多少時間に変更になる場合がございます。
※ 出発日より、見学順が変更になる場合があります。

Table with 2 columns: 班 (Class) and 日程 (Itinerary). Lists 4 classes with their respective dates.

◆ 宿泊先
1泊目 2泊目
鬼怒川温泉： 草津温泉：
きぬ川スパホテル三日月 ホテル櫻井
☎0288 (77) 2611 ☎0279-88-1111



■申込方法/もよりのクラブ会長様に旅行代金を添えてお申し込み下さい
■お問い合わせ/小田原市老人クラブ連合会事務局
TEL 0465 (32) 5800
もしくはもよりのクラブ会長様へ

旅行取扱会社
(株)小田急トラベル
小田原販売センター
TEL0465 (22) 0801

会員文芸



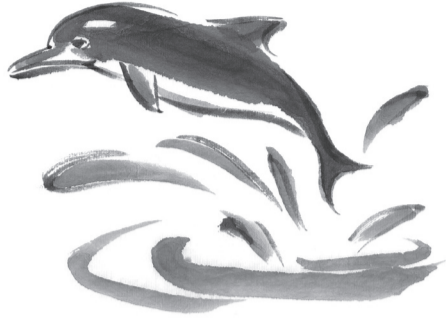
俳句

十字地区 銀杏の会 生田目茂子
待ち人や厨に七つ落のとう
夏帽子忘れられてる無人駅

西北長寿会 熊坂 千枝
合格の電話孫から春近し
よく遊びよく食べ夏のキャンプの子

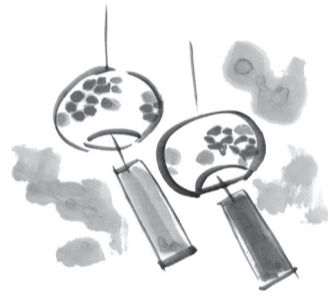
飯田岡第一寿会 岡田チヨ子
夫逝った四月七日は花盛り
今朝一枝のサクラ供えやる

下曾我 高砂会 穂坂由紀夫
紅梅に小鳥群がる宿の朝
街は通夜鬼百合ゆるる終戦日
南鴨宮第二長寿会 後藤 房江
装いの少し派手目に春日和
割り箸につくろぐ旅の夏料理



片浦相生クラブ 森本シヅ子
野遊びや箆いっぱいの落のとう
亡き夫の好物そばと冷奴

前羽長寿会 大曾根幸江
蹴り上げし白球眩し松の芯
夕暮れの大樹揺るがす蝉しぐれ



短歌

あゆみクラブ 湯川喜代子
みそびれし三春の桜咲いてると
きけば思いわ今は亡き人

飯田岡第一寿会 岡田チヨ子
シクラメン咲きつづければ疲れたらう？
施肥してやれば蕾また出す

片浦相生クラブ 森本シヅ子
生ぶ声をあげた曾孫が高校生
嫁に行くまで生きてもみだし

高砂会 宮本多喜子
若き日の紅梅織りのわが着物
のれんとなりて玄関に揺る

中断の工事現場の金網に
葛のはびこり暑さ極まる

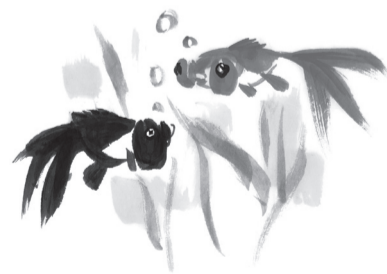


川柳

十字地区 銀杏の会 生田目茂子
愛猫は遠慮もなしに朝帰り
じいちゃんの腰のうまさや阿波踊り

前羽地区町屋長寿会 大井川悦雄
百歳までも生きてく気持やる姿勢
少子化で色あせて来た祭典ごと
ユーモアとダジャレで脳味噌若々する

片浦相生クラブ 森本シヅ子
死ぬもいや生きるも辛い九十六



原稿募集

「小田原創友クラブ」64号(平成27年冬号)に原稿をお寄せください。単
位老人クラブ活動記、日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳など
何でも結構です。
*紙面の都合上、長文の場合は分量をカットもしくは次号まわしとさせて
いただくことがあります。
*趣旨を変更せず添削する場合があります。二重投稿、発表済みのものは
受け付けません。また原稿、作品、写真等は返却しません。
*活動記などは写真があれば添付してください。
*必ず氏名、地区名、クラブ名、電話番号を明記してください。
(不明な点をお聞きする場合があります)。
*原稿をパソコン等で作成された方はデータをUSB、CD-R等にコピ
ーしてお送り下さい。ご協力をお願いします。
発行 平成27年1月 締切日 平成26年10月15日
◆宛先 小田原市久野11512 おだわら総合医療福祉会館
小田原市老人クラブ連合会「小田原創友クラブ」教養部まで。

山田原市老連 活動報告



グラウンドゴルフ大会

春季研修旅行・「佐渡」



スポンサー各位へ御礼

このたびは小田原市老人クラブ連合会広報紙「小田原創友クラブ」に広告のご掲載を賜わり、誠にありがとうございました。

本紙は来たる超高齢社会に向かって、会員のいきがい、健康、教養を高めるとともに、会員相互の親睦交流を願って発行するものであります。以上の趣旨をご理解いただき、何卒末永きご厚誼、ご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

小田原市老人クラブ連合会



▼ 今回の「小田原創友クラブ」63号の発行にあたり、表紙のテーマを大きく小田原を表現するものとしてみました。

また、小田原創友クラブ会員の相互理解を一層深めるため各、単位クラブの紹介を企画いたしました。取材にあたり各会長はじめ、クラブ会員皆さまから丁寧なる多数の原稿や資料をいただき、心から厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

なお教養部一同、次号に向けて一歩一歩精いっぱい頑張りますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

教養部

あとがき
